

七国のTPP！直ちに撤退だ

国民に何の良いところもない！アメリカの言いなり

「TPPには断固反対です」と言った選挙の公約はどこにいったのでしょうか。自民党はすべてを投げ捨て、環太平洋連携協定の交渉に強行して参加しました。今やTPPは安倍政権が掲げる「成長戦略」の重要な柱の一つとして、日本を「世界で一番企業が活動しやすい国」に変えると豪語しています。

TPPって何？ 私たちの生活にどんな影響があるの？ そんな声に心えて、今回はTPPの実態に迫ります。



農水省は、TPPの言う関税撤廃を行えば、米の自給率は1割以下、国民が食べる米の9割以上が外国産の米になり、ただでさえ低い食糧自給率は現在の39%、13%に落ちると言われています。

民主党政権の時「2020年までに食糧自給率は、50%にする」と言った計画など全く絵に描いた餅です。

「第3の開国だ」「農業は保護されすぎている」などと言いますが、日本の農産物への関税率は11.7%アメリカに次いで世界で2番目に低く「開国」どころか開かれません。

それに、日本の田畑は、洪水防止、土砂災害の防止、

水質浄化など年間で90兆円の効果があるとされています。TPPに参加していけば、日本の美しい風景さえ見られなくなってしまう。

果があると言われていました。TPPに参加していけば、日本の美しい風景さえ見られなくなってしまう。

食の安全・・・2月1日～ アメリカから入ってくる牛肉は、これまで20ヶ月以下の子牛のみだつのが、30ヶ月までに変更、すでにBSE輸入規制(いわゆる狂牛病)が緩和された肉を食べ始めています。これに伴い、私たちの口に入る添加物・残留農薬の基準、遺伝子組み換え表示なども緩和・撤廃が迫られます。

医療面・・・株式会社の病院経営(外国からの病院も入り放題)や混合診療(保険は全く使わない)の拡大、薬代の高騰などで今の保険制度が崩壊しかねません。

簡保や共済・・・これまでしていた簡保や共済の事業が他国の保険会社の利益を圧迫するからと解体されるかも。

雇用や中小企業・・・農林水産業の衰退で関連産業の雇用が190万人減少する予定。公共事業にも外国企業への解放が義務づけられるので、資本の大きな所が次々参入し地元の仕事や雇用がなくなります。

左の枠を見てください。TPPに突っ込んでいけば、くらしや経済は真つ暗です。だいたいアメリカの耕作面積は日本の100倍、オーストラリアは1500倍、

水質浄化など年間で90兆円の効果が... 果があると言われていました。TPPに参加していけば、日本の美しい風景さえ見られなくなってしまう。

0倍もあるのです。大規模多角農業に、日本が太刀打ちできるはずがありません。世界で最も農産物が安い2つの国と争えるはずがないのです。

安倍首相は、「世界で一番企業が活動しやすい国」に変えると言います。企業が活動しやすい国とはどんな国なのでしょう？

企業は「利益を追求すること」を目的に作られた法人「ですから、支払う税金はできるだけ安く、できる限り支払いたくない」

「従業員はできるだけ安く働かせたい」「好きな時・好きなように従業員を雇い・解雇したい」

「政府や自治体の規制は受けず自由に活動したい」と言うことになるのです。

こんな事がまかり通つたら、日本はブラック企業だらけになってしまう。

子どもたちは、「自分の未来に自信が持てない」「大学を出て本当に仕事があるのだろうか」

成田内閣官房参与は、野田首相の時からオバマ大統領に「普天間基地移設もできていない」「TPPぐらいは、前向きなことを言わないといけない」と考えていたと解説します。

今日日本がたどる道は、お互いの国の国民のくらしや権利を守るルールを尊重しながら貿易や経済関係を発展させることが大切で、日米同盟に「波風」を立てたくないという考えだけで、アメリカの言いなりになりTPP参加へ暴走するというのは絶対あってはいけないことではないでしょうか。

成田内閣官房参与は、野田首相の時からオバマ大統領に「普天間基地移設もできていない」「TPPぐらいは、前向きなことを言わないといけない」と考えていたと解説します。

「親にお金を出してもらっても、本心に有効なのだろうか」と、とても不安がる子どもたちがたくさんいます。

社会科の時間に私たちは「日本の農林水産業は、豊かな発展の潜在力を持つているから、いい仕事だよ」と教えるはずですが、「これからは、外国から大量に安い食料を買い入れて、輸入依存を高めるべきだ」と教えている教師はいないはずですが。

TPPに政府は、なぜこんなに固執するのでしょうか。

彼岸とは、春分、秋分の日をはさんで前後の3日間の7日間を、お彼岸といい先生方の中にも先祖の供養をしたりお墓参りに行った人も多いと思つ「彼岸」とは私たちの世界「此岸(しがん)」に対する言葉で、彼の岸(あちらの世界)という浄土を意味する言葉だ。春分、秋分の日には昼と夜の長さが同じで、仏教でいう「中道」の教えにながらうらしい。真西が浄土の方向だが、太陽が真西の極楽浄土の方向に沈む時期なので阿彌陀仏の礼拝にちょうど良いといふ。この時期のお彼岸におはぎを食べる習慣は、江戸時代から始まったと言われている。「小豆」は昔から邪気を払うものとして信仰され先祖の供養と結び

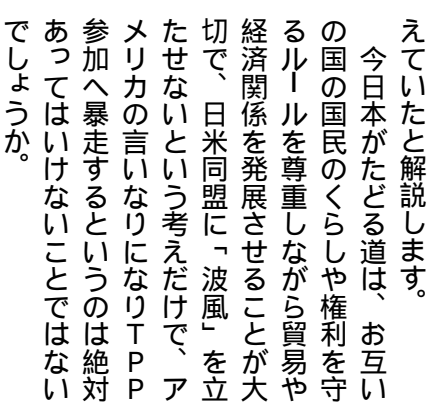
ついたという説や、砂糖や米が大変貴重だった時代に、先祖におはぎを供えて近所にお裾分けすることが、大変な功德を積むことになったからとの説もある。

また「おはぎ」はあんこと餅米を「はぎ合わせる」ということからその名がついたとの説もあり、「二つのものを「合わせる」すなわち、先祖と心と心を合わせる」という意味で始まった等と言つ説もある。著者も「おはぎ」と「ぼたもち」は東西で言い方が異なるのかと思つていたが、春の彼岸では「ぼたもち」秋の彼岸では「おはぎ」と呼ばれているらしい。実は、秋の時期が「おはぎ」牡丹の時期が「ぼたもち」だそうである呼び名が変わる食べ物だそう。

「親にお金を出してもらっても、本心に有効なのだろうか」と、とても不安がる子どもたちがたくさんいます。

彼岸とは、春分、秋分の日をはさんで前後の3日間の7日間を、お彼岸といい先生方の中にも先祖の供養をしたりお墓参りに行った人も多いと思つ「彼岸」とは私たちの世界「此岸(しがん)」に対する言葉で、彼の岸(あちらの世界)という浄土を意味する言葉だ。春分、秋分の日には昼と夜の長さが同じで、仏教でいう「中道」の教えにながらうらしい。真西が浄土の方向だが、太陽が真西の極楽浄土の方向に沈む時期なので阿彌陀仏の礼拝にちょうど良いといふ。この時期のお彼岸におはぎを食べる習慣は、江戸時代から始まったと言われている。「小豆」は昔から邪気を払うものとして信仰され先祖の供養と結び

彼岸とは、春分、秋分の日をはさんで前後の3日間の7日間を、お彼岸といい先生方の中にも先祖の供養をしたりお墓参りに行った人も多いと思つ「彼岸」とは私たちの世界「此岸(しがん)」に対する言葉で、彼の岸(あちらの世界)という浄土を意味する言葉だ。春分、秋分の日には昼と夜の長さが同じで、仏教でいう「中道」の教えにながらうらしい。真西が浄土の方向だが、太陽が真西の極楽浄土の方向に沈む時期なので阿彌陀仏の礼拝にちょうど良いといふ。この時期のお彼岸におはぎを食べる習慣は、江戸時代から始まったと言われている。「小豆」は昔から邪気を払うものとして信仰され先祖の供養と結び



香川教育

発行所
高松市田村町1033-3
TEL(087)867-4797
FAX(087)867-6446
香川県教職員組合
定価1部50円 1月100円
(組合員の購読料は組合費に含む)

香教組ホームページ
http://www.niji.or.jp/home/kakyoso/homepage

教育研究集会

10月27日(日)
9:30~
於 香川大学
午前 分科会
午後 講演会
村山士郎 氏
大東文化大学教授
教育学者

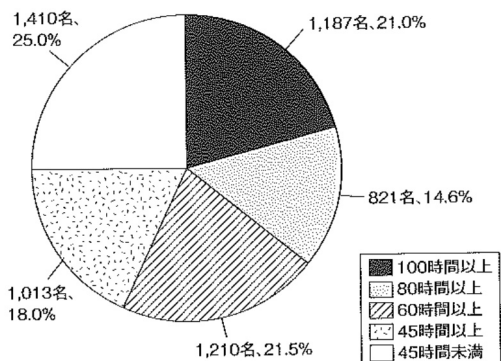
お彼岸って何なの？

彼岸とは、春分、秋分の日をはさんで前後の3日間の7日間を、お彼岸といい先生方の中にも先祖の供養をしたりお墓参りに行った人も多いと思つ「彼岸」とは私たちの世界「此岸(しがん)」に対する言葉で、彼の岸(あちらの世界)という浄土を意味する言葉だ。春分、秋分の日には昼と夜の長さが同じで、仏教でいう「中道」の教えにながらうらしい。真西が浄土の方向だが、太陽が真西の極楽浄土の方向に沈む時期なので阿彌陀仏の礼拝にちょうど良いといふ。この時期のお彼岸におはぎを食べる習慣は、江戸時代から始まったと言われている。「小豆」は昔から邪気を払うものとして信仰され先祖の供養と結び

これでいいのか？教職員の働き方

睡眠不足は脳や心臓疾患での死亡率を高める

図1 教諭等の平均時間外勤務時間の分布



働き・日の長さ

全教の調査では、土・日の勤務が9時間15分になっています。これを、日常で考えると朝7時45分に仕事をスタートし、夕方6時35分に学校を出ればこの残業時間です。香川では普通のこと、これ以上勤務している人はもっと多いぐらいでしょう。

これを、日常で考えると朝7時45分に仕事をスタートし、夕方6時35分に学校を出ればこの残業時間です。香川では普通のこと、これ以上勤務している人はもっと多いぐらいでしょう。これを、日常で考えると朝7時45分に仕事をスタートし、夕方6時35分に学校を出ればこの残業時間です。香川では普通のこと、これ以上勤務している人はもっと多いぐらいでしょう。

平均6時間19分の睡眠時間

全教は、2012年10月1日から7日までの1週間をゾーンとして、全教全ての構成組織と教組共闘連絡会に入っている組織から協力を得て、教職員の「勤務実態調査2012」を実施しました。香教組は、この結果から香川の教職員もよく似た傾向があると考え、秋の交渉の中でも取り上げていきたいと考えています。

9時間15分を2日で分ければおよそ4時間半、部活が半日あれば、当然それだけの出勤になるはず。小学校の先生は、土・日の部活動がないため、学校に来る時間は短いものの、その分持ち帰り仕事の量が増えています。持ち帰りの一ヶ月の平均は、22時間24分。だいたい土・日に全く仕事をしないなら、一日に1時間ぐらいの持ち帰り仕事をしている計算です。

仕事と生活のバランス

香教組は、この実態調査は香川の教員の平均的な勤務実態と非常に似通っていると考えています。また、時期も10月の一週目ということで、香川県の中には一学期制を引いていたところもあり、全国的にはだいたい通常の勤務がされている日と考えられます。

2014年度当初予算に関する要求書

香教組は、11月に実施される2014年度当初予算に関する要求書を、県教委に提出しました。今回の交渉では、2013年度に実施された地方公務員の給与引き下げに対して、2014年度に再び実施知ることがないよう、またカットされた賃金に対して、一時金の比率を考えて欲しいなどを皮切りに要求する予定です。

- <交渉の要求項目については以下の通り>
- ・ 2014年は、地方公務員給与引き下げをしないこと
 - ・ 賃金カットされたため、一時金の率をあげる
 - ・ 部活動手当の改善、週休日や休日の業務、交通費、駐車場代などを出すこと
 - ・ 修学旅行、校外学習などでの拝観料や入場料は自己負担としないこと
 - ・ 病休、育休、介護休暇などが遅滞なく取れるように代替教員の確保を行うこと。また、引き継ぎ期間が3日取れるようにすること
 - ・ 年次休暇が取れやすい職場環境にすること。長時間勤務解消のための具体的措置を行うこと
 - ・ 義務教育の6時間講師という非常勤の雇い方はせず、常勤講師として雇うこと。17条講師を復活させること
 - ・ 障害種別の学校を存続させ、専門性を確保すること。
- これ以外にもたくさんの内容の要求書を提出していますが、今回交渉のテーブルにのせるのは上の項目です。

「家に帰ってから、当然食事をしたり、テレビを見たりするため、睡眠時間が少なくなる。長期間にわたって1日の睡眠状態が4時間から6時間が続くと、睡眠不足が脳や心臓疾患の有病率や死亡率を高める」と報告しています。また、長時間のストレスは、交感神経の緊張から、糖尿病・がん・脳心臓疾患・認知症の原因になるため、気をつける必要があると言います。

全教共済の募集が始まります

- 10月1日から全教共済の募集がスタートします。今回募集するのは以下の通りです。
- <新規加入>
- 生命共済
 - 1口240円で死亡時100万円の保障です。(口数が増えると保障金額もその数だけ増えます5口なら500万円)
 - 医療共済
 - 1口215円で入院1日1000円です。5口かけると5000円が保障されます。
 - 傷害共済(家族の入れるファミリー、交通傷害もあります。2種類)
 - 1口50円 交通事故なら死亡時100万
 - 入院は一日1500円です。
 - 年金共済(60歳から65歳の間の年金に)
 - 3000円からの掛け金です。

「睡眠不足は、脳の健全な機能が発揮できなくなり、ネガティブな考えに陥るようになる」という結果も出ているために、香川でもノー残業デーの設置など全ての教員が本腰を入れて長時間労働の改善に取り組む必要があります。